

会議録(1)

会議の名称	令和7年度第2回飯能市地域包括支援センター運営等協議会
開催日時	令和7年8月27日(水) 開会 午後1時30分 閉会 午後2時40分
開催場所	飯能市総合福祉センター 3階 会議室1
会長氏名	大野 康
出席委員	石川 友仁 池田 徳幸 打田 瑠美 大野 康 大野 泰規 小田 晋平 齋藤 明 黒見 恵 角田 七重
欠席委員	なし
傍聴者の数	1人
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局	福祉部長 五十川 美也子 介護福祉課長 堀川 和義 主幹 佐野 誠治 主幹 鈴木 雅之 主査 岡部 美ちる 主査 小川 達也 主事 大松 春乃 主事 荻原 まいり

会議録(2)

議 事 の 概 要 （ 経 過 ） ・ 決 定 事 項

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）地域包括支援センターの事業実施状況について

（2）令和6年度各地域包括支援センター収支決算について

（3）地域密着型サービス事業者の指定について

（4）その他

4 閉会

会議録(3)

発言者	発言内容
介護福祉課主事	(開会)
会長	(あいさつ)
	「(1) 地域包括支援センターの事業実施状況について」を議題とする。
介護福祉課長	(資料1・2に基づき説明)
議長	議題(1)について質問・意見を伺いたい。
委員	資料1の事業実施状況報告書の様式は埼玉県内の全市町村で同じものなのか。
介護福祉課長	飯能市独自の様式である。
委員	資料2-1の基幹型地域包括支援センターの今後の方針で「車を使ったお出かけ支援研修会の開催に向けて企画を進めていく」と記載があり、実施するのはずっと先だと思うが、いつ頃になるのか。
介護福祉課長	「車を使ったお出かけ支援研修会」は8月28日(木)、午後1時30分より総合福祉センターで実施される。市内において車を使った外出サポートを行っている有償ボランティア団体の方などを対象に、「もしものとき、どう備えるか」をテーマとし、損保ジャパンの方から専門的な保険について、社会福祉協議会の職員から保障について、お話をいただく。また、たすけあい加治の代表から事例発表をしていただき、意見交換を行い、埼玉医大のアドバイザーからも意見をいただくような内容となっている。
会長	実際は車を使ったお出かけ支援はすでに動いている。もしなにかがあったらということを考えて備えておくことが大事だと思う。
委員	資料2-1 基幹型地域包括支援センターの自立支援型地域ケア会議の中で「民間身元保証サービスへの委任契約について、介護支援専門員に対する更なる周知」との記載があるが、具体的には

	どのように実施したのか。民間の保証会社に委託すると高額で、金銭的に余裕がない人は頼みたくても頼めないのだと思う。また、金額が低い場合はあまり対応が良くない団体もあり、依頼の方法や選別が難しい印象を持っている。各地域包括支援センターの報告の中にも身元保証人がいなくて困るとの記載があり、必要だと感じるが、どのように周知しているのか。
介護福祉課主査	地域包括支援センターから身元保証人がおらず、困るという意見があり、1つのツールとして民間の身元保証サービスもあることを共有した。
委員	各地域包括支援センターの報告を見ると中身が濃い事業や新しい取組が実施されており、市民にとっては良いことだと思うが、事業所の法人の立場から考えるとこのままでもつのかと感じる。市として将来的な方向性をどう考えているのか。もっと人を増やすのか、事業所を増やすのか、考えていけないといけないと思う。困難事例が増加していることもあり、職員はかなり疲弊している。施設や居宅介護支援事業所では、DXや業務の効率化を図っているが、地域包括支援センターは全く逆行している。行うべきことと切り捨てるものを見極めていかないと継続が難しく感じる。ケアマネジャーの成り手が減っていく中で、専門職を確保することが難しい状況となっている。給与面の待遇についても、国から処遇改善加算があるが、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所は対象外である。待遇が悪い状態が続き、ハラスメントも発生する職場環境では長く勤務してくれる方を雇用することが難しくなる。現在在籍する職員は経験を積んでいるため、仕事を上乘せられても耐えられるが、職員の入れ替えがあるため、この高いレベルの仕事を維持することは難しいと感じる。検討が必要な時期が来ていると思う。
会長	次の議題の昨年度の地域包括支援センターの収支と密接に関わる内容であるので貴重な意見として事務局に考えていただければと思う。 第1層協議体の「介護予防とささえあい活動の10年間を振り返る これからの10年間を考える」という記載については、ここで結論が出たわけではなく、令和7年度の検討テーマということで今実施していることか。2025年問題は以前から走り続けていたが、その年になってしまった。一度立ち止まって振り返ることが大切だと思う。10年前と違い、マンパワーの問題がある。委員から話が合ったように必要なことを考える必要がある。次回

	の会議時に第1層協議体で検討がどこまで進んでいるか共有してほしい。
議長	「(2) 令和6年度各包括支援センターの収支決算について」を議題とする。
介護福祉課主幹	(資料3に基づき説明)
議長	議題(2)について質問・意見を伺いたい。
委員	人員の確保に予算をしっかりつけてもらいたい。他の委員からも意見があったが、事業所がやっていけるのかどうかという問題も実際にはあると思う。
委員	地域包括支援センターの事業に関しては、儲けようと思って実施しているわけではなく、地域に恩返ししていこうという気持ちで実施している。しかし、大幅な赤字では続かない。きちんと続けることが大切である。事業所としても努力はしていかななくてはいけないと考えている。
委員	さかえ町の収支が黒字になった要因は昨年度途中職員が抜けてしまったときに配置が間に合わず、人件費がプラスされていない部分があったためである。今年度に関しては配置を満たしている状況であるため、この収支状況は変わる。 現場の実務において、無駄な動きがある。居宅介護支援事業所にも言えるが、お金が発生しない動きが多いとその分本来やらなくてはいけない業務がひっ迫する。土日の緊急時の困難事例の対応については、社用携帯を持っており、何かあったときに勤務扱いで急遽動かななくてはいけないという点で、ワークライフバランスを考えると精神的に休む時間がないと感じる。また、公平中立という地域包括支援センターの立場は分かるが、法人で介護予防支援事業所と居宅介護支援事業所もあり、兼務ができれば予防給付、介護給付を1人で対応できるのではないか。そこが緩和できると無駄な動きが少なくなると現場の意見が挙がっている。
会長	兼務ができないということは国の方で決まっていることなのか、次回教えていただければと思う。
福祉部長	そういったことが可能か調べる。

会長	話は変わるが、介護認定審査会にも関わっていて、要支援2と要介護1の判定はデリケートで、きちんと審査はしていくが、変更があると、関わるケアマネジャーが大変になることがわかる。人手不足であり、国の方で現場が困らないように見直してほしい。
委員	居宅介護支援事業所も実際お金が発生しない業務は多い。地域包括支援センターの方から依頼があり、対応するが、地域包括支援センターからの電話で要介護認定が出た方から相談があったという情報のみで依頼をされるときがある。どのような方でその方がサービスを希望しているか情報が一切ない。居宅介護支援事業所のケアマネジャーがその方のもとへ行くと、サービスを利用するつもりはないと言われることがある。ケアマネジャーが動いても事業所の単位が加算されることはない。これが先月は5件続いた。介護保険を利用していると、全てケアマネジャーが対応するという方向性になっており、仕事のやりづらさを感じる。24時間対応できるように1人1台携帯を持っているが、厳しいところがある。 また、この協議会だが、毎回相談件数の報告がされるが、なぜこの結果になったかということを深堀していき、地域包括支援センターの問題点を明らかにし、どのようにフォローしていくかを考える必要があると思う。
委員	地域包括支援センターは予防支援のプランを作り、赤字分を穴埋めしている状況であり、他の委員も言っていたように考えていけないといけないと思う。業務を減らす努力をしていかないと厳しくなる。
委員	協議会用の報告資料を作成することにも時間がかかると思う。簡単に読み込んで作成できるようにして、肝心なところに時間を割けるようになったらいいのではないかな。
委員	さかえ町の報告書の中でいろいろな研修に参加しているとの記載があるが、改めてみると結構な量の研修だと思う。研修に参加することにより、地域包括支援センターの業務に対応できる職員が減ること、時間を割かれることはあると思う。しかし、その分スキルアップして業務にはいい効果があると思うので加味していく必要がある。
議長	「(3) 地域密着型サービス事業者の指定について」を議題とする。

介護福祉課主幹	(資料４に基づき説明)
議長	介護保険の施設の許認可は県で行っているが、地域密着等の市町村で行うものもある。市の選定委員会ですでに審査をしているものだが、本協議会においても意見を求められているものである。議題（３）について質問・意見を伺いたい。
委員	９月１日から始められるのか。もう動いているのか。
介護福祉課主幹	昨年度募集し、許認可はすでに出ている。
議長	「（４）その他」を議題とする。
介護福祉課主幹	昨年度と同様に今年度も地域密着型サービス事業者の公募を行う。昨年度と異なるのは、認知症対応型共同生活介護が９期計画で予定されているが、来月から開場いただくのでそちらを公募の対象から抜いたものとなる。応募があれば、次回の協議会でお諮りすることになる。
福祉部長	別件になるが、第２庁舎の老朽化のため、来年度に教育センターを総合福祉センターの２階に移転することを計画している。移転に伴い、１０月から工事を予定している。２階の利用者は他の階の別の部屋を利用してもらうことになり、今後調整がある。次回の協議会時には工事が始まっており、別の部屋になる可能性もある。保健センターも耐震が整っていないため、移転について検討中である。
議長	他に質問等あるか。
委員	現在、飯能市で実際に動いているケアマネジャーは何人くらいいるのか。
委員	実際には、辞める方や始める方も多いことや、ケアマネジャーの協議会もあるが、全員が集まるわけではない。毎年登録をするが、事業所の全ケアマネジャーが登録するわけではないので人数は分からない。
会長	ケアマネジャーが少しでも気持ちよく働くことができ、目指す人も多くなるようになればいい。１１月２９日（土）に飯能市・

	日高市の多職種連携の市民フォーラムが飯能市民会館の大ホールにて開催される。次回の協議会の資料の送付時にチラシを入れてほしい。 介護福祉課主事 次回、１１月１９日（水）１３時３０分より総合福祉センター会議室１で開催予定である。総合福祉センターの工事の関係で会場が変わる場合には通知でお知らせする。 副会長 （あいさつ） 介護福祉課主事 （閉会）
議事のでん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。 令和 年 月 日 議長の署名 _____	